

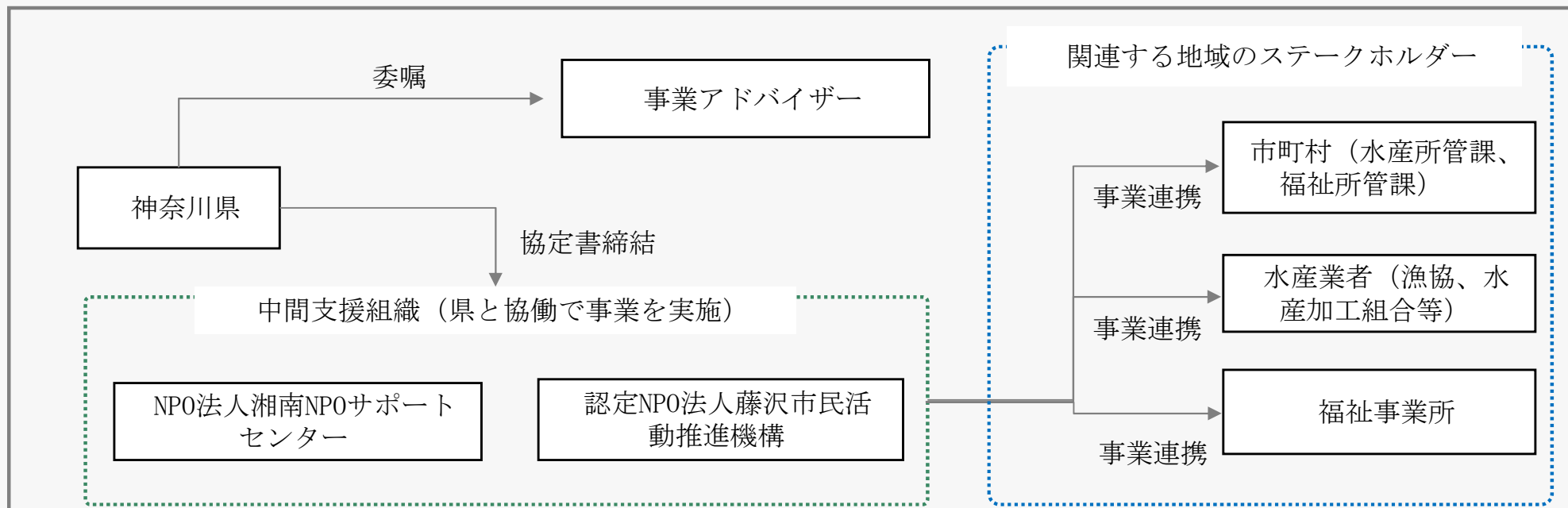
かながわ水産業福祉連携推進事業

■ 具体的使途（経費内訳）

交付対象事業	経費内訳、交付金充当額
かながわ水産業福祉連携推進事業 16,000千円	・研修（理解増進） 1,217千円 一般県民を対象に、水産業福祉連携（水福連携）の意義を理解し、連携意識の醸成を図ることを目的として、水福連携が進むと見込まれる中核4市（小田原、藤沢、平塚、逗子）で基礎的な知識を習得するための座学研修を実施する。
	・研修（水産業者向け） 2,365千円 蒲鉾・干物などの水産加工団体や連携の可能性が高いと見込まれる漁協など、水産加工業者や漁業者を対象に、水福連携のメリット・可能性を理解してもらうことを目的として、具体的な連携事例や福祉側の特性を理解するための座学研修を実施する。
	・研修（コーディネーター育成） 2,041千円 福祉事業所スタッフや障がい者、高齢者、生活困窮者の支援団体等を対象に、水福連携に向けて水産側と福祉側の間を仲介・調整できる人材の育成を目的として、水福連携の基礎知識のほか調整方法・技術を学ぶ座学研修を実施する。
	・研修（ジョブコーチ育成） 2,217千円 水福連携の可能性が見込まれる福祉事業所スタッフ・支援団体を対象に、水産業の基礎知識を学ぶとともに、団体内へ技術移転する方法を学ぶ体験型研修を実施する。
	・研修（現場体験） 2,227千円 水産業者、福祉事業所スタッフ・支援団体を対象に、イメージしやすい水福連携を可視化し、連携につなげていくことを目的として、水福連携の具体的な体験型研修を実施する。
	・アドバイザー派遣 2,089千円 水産業者、福祉事業所スタッフ・支援団体等を対象に、各団体・事業所等で困っている課題に対し、専門的知見を有する事業アドバイザーが助言・指導することで水福連携につなげていくことを目的として、要望に応じた専門家の派遣事業を実施する。
	・マッチングの場づくり 1,771千円 水産業者、福祉事業所スタッフ・支援団体を対象に、普段は出会わない水産業者と福祉事業者等が出会う機会を創出し、相互交流・相互理解を図り、水福連携の事例を創出することを目的として、講演・事例紹介等の座学研修と交流の場づくりを実施する。
	・水産業福祉連携推進研究会 2,073千円 4半期毎に、行政、水福連携の当事者（水産業者、福祉事業所・支援団体）や中間支援組織NPO等とが一堂に会し、意見交換・研究等を行うことで、水福連携を推進する体制づくりを行う。

かながわ水産業福祉連携推進事業

■ 実施体制



名称	役割
神奈川県	・ 事業全体の総括
NPO法人湘南NPOサポートセンター	・ 事業のコーディネート ・ 各種研修講座、マッチングの場づくりの企画運営実施
認定NPO法人藤沢市民活動推進機構	・ 事業のコーディネート ・ 各種研修講座、マッチングの場づくりの企画運営実施
事業アドバイザー	・ 水産業者、福祉事業所等が有する課題に対し、助言・指導することで水福連携につなげる。

名称	役割
市町村（水産所管課、福祉所管課）	・ 水産業者、福祉事業所等との連絡 ・ 研究会への参加
水産業者（漁協、水産加工組合等）	・ 研修、マッチングの場づくり、研究会への参加 ・ 水福連携のマッチング成立による福祉事業所との連携
福祉事業所	・ 研修、マッチングの場づくり、研究会への参加 ・ 水福連携のマッチング成立による水産業者との連携